

**『映画 太陽の子』上映&トークイベント
「いまあらためて《科学者の社会的責任》を問う」**

■日時：2021年11月21日（日）13:30～17:00

■場所：長崎大学中部講堂及びYouTube ライブ配信（YouTube 配信は第二部のみ）

■共催：核兵器廃絶長崎連絡協議会（PCU-NC）、日本パグウォッシュ会議、
長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）

協力：イオンエンターテイメント株式会社

■プログラム

13：30～13：35 開会挨拶

調 漸 核兵器廃絶長崎連絡協議会会長

第一部

13：35～15：30 映画上映

第二部

15：40～15：50 挨拶

黒崎 博 「映画 太陽の子」監督・脚本

森 コウ 「映画 太陽の子」プロデューサー

浜野 高宏 「映画 太陽の子」プロデューサー

15：50～16：55 パネルトーク

モデレーター：吉田 文彦 RECNA センター長

パネリスト：小沼 通二 慶応義塾大学名誉教授

畠山 澄子 ピースボート主任研究員

鈴木 達治郎 RECNA 副センター長

16：55～17：00 閉会挨拶

稲垣 知宏 日本パグウォッシュ会議代表・広島大学教授

プロフィール（敬称略）

黒崎 博（くろさき ひろし）

「映画 太陽の子」監督・脚本

1969 年生まれ、岡山県出身。92 年に NHK に入局。2010 年、ドラマ「火の魚」の演出により平成 21 年度芸術選奨文部科学大臣新人賞放送部門、第 36 回放送文化基金賞演出賞、および東京ドラマアウォード 2010 演出賞を受賞。主な映画作品は『冬の日』（11）、『セカンドバージン』、『神の火』（Prometheus' Fire）でサンダンス・インスティテュート/NHK 賞 2015 にてスペシャル・メンション賞（特別賞）を受賞。「太陽の子」（GIFT OF FIRE）と改題し、2020 年にパイロット版とも言うべきテレビドラマが放映される。主な作品に NHK 連続テレビ小説「ひよっこ」、帽子」（08）、「火の魚」（09）、「チェイス〜国税査察官〜」（10）、「メイドインジャパン」（13）、「警察庁長官狙撃事件」（18）、現在放送中の NHK 大河ドラマ「青天を衝け」（21）などがある。

森 コウ（もり こう）

「映画 太陽の子」プロデューサー

東京出身、ロサンゼルス在住の映画プロデューサー。アメリカ国内外での映画製作および日本のアニメ作品の北米配給を手がけるロサンゼルス ELEVEN ARTS STUDIOS の CEO。プロデューサーとして、『マンフロムリノ』（14）で米国インデペンデント映画最高峰のアワードでアカデミー賞に並び権威のある 2015 年度インディペンデント・スピリット賞にプロデューサーとして日本人初ノミネート。スピルバーグや JJ エイブラムスもメンバーである Producers Guild of America に所属している。監督・園子温、主演・ニコラス・ケイジで製作された最新作『プリズナース・オブ・ゴーストランド』（21）は 2021 年度サンダンス映画祭のプレミア部門の上映作に選ばれ、今年最も注目すべき作品のひとつとして取り上げられる。

浜野 高宏（はまの たかひろ）

「映画 太陽の子」プロデューサー

1966 年生まれ、東京都出身。1990 年に NHK に入局。現 NHK エンタープライズ。国際共同制作を中心に映像制作を続ける。東日本大震災後は「震災後を歩く デヴィッド・スズキ」（12）、「波の向こう」（13）などをプロデュース。「テロリストの母とよばれて」（19）は ATP 最優秀賞。2015 年カナダ国際ドキュメンタリー映画祭で Doc Mogul 賞を日本人初受賞。2020 年「首都直下地震ウィーク」の取り組みにイタリア賞・ABU 賞を受賞。また、ドラマは「妖しき文豪怪談」（10）、「怪異 TV」（15）、「最後の贈り物」（16）などを制作。映画『エルミタージュ幻想』（03）、『冬の日』（11 黒崎監督）、『ひろしま 石内都・遺されたものたち』（13）、『太秦ライムライト』（14）の制作・劇場上映に携わる。韓国と共同制作『劇場版 バーニング』（19）はカンヌ・NY・LA の各映画祭で批評家賞を受賞する。

調 漸（しらべ すすむ）

核兵器廃絶長崎連絡協議会 会長、長崎大学 感染症共同研究拠点 副拠点長 教授

熊本大医学部卒、長崎大で内科・神経内科医としてへき地医療・医療人教育・神経難病の研究にあたる。被爆 2 世医師として核兵器を使うことの愚かさを伝え続ける。

吉田 文彦（よしだ ふみひこ）

RECNA センター長・教授

1955 年京都市生まれ。東京大学文学部卒、朝日新聞社入社。2000 年より論説委員、論説副主幹。その後は、国際基督教大学（ICU）客員教授、米国のカーネギー国際平和財団客員研究員など。主な著書は、『核解体』『証言 核抑止の世紀』『核のアメリカ』。大阪大学にて博士号（国際公共政策）取得。

小沼 通二（こぬま みちじ）

慶應義塾大学名誉教授、日本パグウォッシュ会議諮問委員、世界平和アピール七人委員会委員

1931 年東京生まれ。東京大学大学院修了、理学博士。日本学術会議原子核特別委員会委員長、日本物理学会会長、パグウォッシュ会議評議員などを務めた。近著『湯川秀樹の戦争と平和』など。

畠山 澄子（はたけやま すみこ）

ピースボートスタッフ、ペンシルベニア大学博士課程在籍・科学技術史専攻

ピースボートでは広島・長崎の被爆者の証言を世界に届ける「ヒバクシャ地球一周～証言の航海～」に携わる。共著書に『マンガ入門 殺人ロボットが やってくる!?: 軍事ドローンからロボット兵器まで』（合同出版）、『軍縮教育 ピースボートの方法論 [英語書籍]』（国連）がある。

鈴木 達治郎（すずき たつじろう）

RECNA 副センター長・教授、パグウォッシュ会議評議員

1951 年生まれ。75 年東京大学工学部原子力工学科卒。78 年マサチューセッツ工科大学プログラム修士修了。工学博士（東京大学）。2010 年 1 月より 2014 年 3 月まで内閣府原子力委員会委員長代理を務めた。

稲垣 知宏（いながき ともひろ）

広島大学情報メディア教育研究センター教授、日本パグウォッシュ会議代表

主な研究分野は素粒子、原子核、宇宙物理、情報教育、情報倫理教育など。宇宙初期の素粒子模型と重力理論の研究、情報セキュリティ、最先端科学技術と倫理に関する教育などに広く取り組む。